

柳營日記記

寛文四^甲辰年

七月

朔日^{微雨}

式日之御禮如例

御目見

從甲州掃部
參勤之御禮

新見但馬守
真田伊賀守

各銀馬代
時服三十
御馬一疋被下之

内記就病中同姓出雲守登

城費録頂戴

時服四

本多肥前守

同

内藤撰津守

時服三

松平肥前守

右 御目見以後被下之

羅紗十間
一疋二種

松平大隅守

右国許參着^一付使者伊集院十右衛門を以獻上之 御目見

去頃御書頂戴之御禮

御目見

松平讃岐守使者
彦坂織部
至上候

加藤平内

徳永平八郎

御座之間

(御加増
二千五百石

内藤式部少輔

(御加増
都合百石

山岡十兵衛

右只今迄取来八百石之内御切米三百俵地方^二被成下旨

御直被 仰付候

御鷹之雲雀以 上使御使番 被下面々

酒井左衛門尉

松平和泉守

松平越中守

本多下野守

大久保加賀守

本多下総守

内藤帯刀

水野出羽守

内藤豊前守

土岐山城守
松平美作守

植村右衛門佐

松平將監

鳥居兵部大輔

丹羽式部少輔

内藤右近大夫

右為御禮各登 城

銀五枚

御暇

被下之

參上

奥右馬頭殿^三ひばり進上

二日^{微雨}

夜^二入於御座間 舞

四国落

被 仰付之

三日^晴

時服

御掛香

右七夕為御祝儀進上之

時服三

羽折

同 三

右御暇被下之

二九 渡御

四日^晴

西丸 渡御

評定所大和守出座

松平薩摩守

右御鷹之雲雀拝領之御札登

城差合^二付延引

増山兵部少輔

右登 城是^三姉近日婚姻^二付昨日金三拾枚御内證^三被下

候御札

土屋但馬守

右去^ル頃被下置候御加増所付之御書出頂戴之

三十一 雅 楽 頭

二十ッ

豊後守
美濃守
大和守

右於 御前御鷹之雲雀拝領之為御札登 城差合^二付延引

五日也

右以 上使御鷹之雲雀被下之右為御禮登 城

五日也

知久伊左衛門

座光寺勘左衛門

小笠原孫右衛門

右御暇被下物無之 但伊左衛門儀^ハ孫嫡子可被召出旨

時服二

羽折被下之

御暇

市岡利右衛門

五日

牧野飛騨守雲雀被下之

知久伊左衛門座光寺勘左衛門小笠原孫右衛門御暇被下之

御代官市岡理右衛門御暇時^ハく式羽折被下之

六日^雨

七夕為御祝儀鯖代進上之

金老枚ッ

鯖式百刺

金老枚ッ

松平相模守

松平越前守

松平相模守

松平出羽守

松平安藝守

松平但馬守

松平大和守

松平淡路守

松平中務大輔

松平飛騨守

松平兵部大輔

金老杖
時服三
藤堂大學頭
日光御門主カ
御蓋様へ同所

七日晴
七夕之為御祝儀各 城御規式如例

御刀 松平紀伊守
二種ツツ
兩御典廐カ
七夕御祝儀進上之

八日晴
二九 渡御
奧御馬被為召
土屋但馬守
土井能登守

右於 御前御鷹之雲雀二十ツツ拜領之
土井大炊頭
板倉隱岐守
内藤飛騨守
安藤對馬守
小笠原山城守
松平備前守
永井伊賀守
加賀爪甲斐守

右之面々御鷹雲雀二十ツツ於 殿中拜領之老中傳達之
日光江盆之 御名代土屋兵部少輔被 仰付

九日雨 無事
十日雨
御一門方并國持大名江端午 御内書出ル 如例使者之輩
時服三二宛被下之

金二枚ツツ
被下之
細川越中守
松平清兵衛
鳥山市大夫

澁州信州 今度所々境争論見分三付也
銀五枚 御暇 女院御所御使
宮崎市右衛門
伊奈半左衛門江
右上杵播磨守上テ知行奥州福島領拾貳万石御代官被 仰付候

十一日
參勤
細川越中守
松平出羽守
息 信濃守

右領地御書出被下之於 御前拜領之

各領地 御朱印被下候
時服四 御暇
金式拾枚 家督之御禮 幼少
綿式百把 名代 吉良上野介
御蓋様へ銀三拾枚 島山下總守出座殿
遺物差左吉良十枚 龜之給代徽宗皇帝宸筆獻上之

喜平次幼少二付皆々申合守立候様二と御直被仰合
長尾權四郎
安田兵庫
千坂兵部
沢根猪右衛門

右一同被 召出喜平次事為幼少之間吉良上野介島山下總
守可請下知之旨被 仰出之
御加増御札
土屋但馬守
嶋田又太郎
曾我伊賀守

是 今度右馬頭殿江鷹司家姫君家室為御迎令上京付而也
御暇 米沢御目付
江原与左衛門
三宅内藏介

箱者 在所婦參 伊豫守次男 木下左近
銀馬代 初御札 伊左衛門孫 舟越百助
知久伊介

關八州国廻り被 仰付候輩
美濃部八郎右衛門
市岡五左衛門
渡邊吉左衛門
曾根五郎兵衛
間宮三郎九郎
揖斐与右衛門
溝口孫右衛門
日下部權大夫
山角藤兵衛

但組合八重可被 仰付旨被仰渡之九人
曾我伊賀守 次男

右可被 召出旨老中傳達之
十二日 晴 亥刻 地震
評定所美濃守出座
吉良若狹守

右自京都帰府於 御座之間 御目見
金式枚
一荷一種ツツ
右御生身玉御祝儀以使者進上之
今度 御朱印之目録調候筆者六人へ銀三拾枚被下候名御次
家講 櫻田御殿御書院番
○ 作左衛門子奥山作左衛門家督
御兩典廐カ

十三日 晴
松平式部大輔

右被為 召登 城
禁裏江初鮭以宿次飛脚御進獻
鮭差上ル
南部山城守

御前二而 縮拜領
三反
二反宛
雅 樂 頭
豐 後 守
美 濃 守
大 和 守
土屋但馬守
土井能登守

御留守居衆へも御帷子一ツ被下

昨日被 仰付國廻り之面々因分圖取^二圖定

上総 渡辺吉左衛門 上総 溝口孫右衛門 武藏 掛妻与右衛門
下総 間宮三郎九郎 下総 曾根五郎兵衛 相模 日下權大夫
安房 美濃部八郎右衛門 常陸 市岡五左衛門 山角藤兵衛

十四日

内藤帶刀領内之初蛙進上之

水宰相^ハ初蛙被献之

十五日

如例年諸大名無出仕

東叡山^江 御名代大和守

時服二十

御樽者

時服十

御樽者

時服三ツ

同 二ツ

日光御門主
毘沙門堂御門跡^江
凌雲院^江
且那院^江
寒松院
住心院
圓覺院^江
東漸院^江

十九日^ニ 奥
八^ハ 欠

右盆之為御布施 上使大和守を以被下之

増上寺 御名代美濃守

銀式百枚

時服十

銀十枚

時服二

銀十枚

時服十

時服十

時服十

時服十

時服十

時服十

時服十

時服十

時服十

増上寺方丈^江

同附役者四人^江

日門

毘門

増上寺方丈

増上寺方丈

増上寺方丈

増上寺方丈

増上寺方丈

増上寺方丈

増上寺方丈

増上寺方丈

増上寺方丈

増上寺方丈

去^ル十四日初蛙献上之式番蛙献上之

水戸殿より

法皇御所

本院御所^江

以繼飛脚被進之是^ハ水戸殿^并内藤帶刀より進上之蛙

先日被 仰付候國廻り之輩組合被 仰付候

日下部權大夫

山角藤兵衛

溝口孫左衛門

渡邊吉左衛門

掛妻与右衛門

曾根五郎兵衛

美濃部八郎右衛門

市岡又左衛門

問部三郎次郎

上杉播磨守

右可被 召出旨老中傳達之

右旧領福嶋之城地松平下総守從者遣之可令勤番旨以奉書

老中傳達之

板倉筑後守

松平民部少輔

森川下総守

御書出頂戴之

右三人^江被下候御加増之所附 御書出頂戴之

紅葉山 御名代豊後守

保科肥後守

御目見

水谷伊勢守

右跡式五万石之内四万八千石嫡子左京亮^正式千石次男新

右衛門右之通分^ケ被下之^{補村志摩守組御小姓組也}

本多越中守

本多越中守

本多越中守

本多越中守

本多越中守

右跡式老万石實子無之^二付弟養子吉左衛門^江被 仰付候

長谷川久三郎

右取来り候四千七十一石然惡所内々依奉願御切米^二被成

被下旨老中傳達之

女院御所

新院御所^江

右以繼飛脚初蛙被下之

十九日 晴

御鷹之雲雀三十

被下之

右御禮登 城

久我内府使者春日淡路薰衣香猷之家領拝領之御礼也

鈴木伊兵衛事於京都為屋作料銀廿貫目被下候旨去頃被

仰出今日相達也

廿日 雨

辰刻紅葉山 御參詣 御長榜 巳后刻 還御

御先立 雅楽頭 御刀 松平因幡守 御香 松平紀伊守

水戸紀伊相公尾張羽林陪拜 日門拜迎

御先 雅楽頭 豊後守 美濃守 大和守

御供 但馬守 能登守

日光^ハ掃參

土屋兵部少輔

右於 御座之間 御目見

上州藤川 真光寺

右權僧正被 仰付之東叡山圓覺院扣 殿中老中演達

御座之間

御目見

松平民部大輔

右登 城

御目見

小濱民部

右跡式嫡子孫三郎被 仰付旨扣 殿中老中傳達

御暇

春日淡路

春日淡路

春日淡路

春日淡路

春日淡路

春日淡路

春日淡路

春日淡路

○一日次記は奉書との

○一日次記は奉書との

○一日次記は奉書との

○一日次記は奉書との

○一日次記は奉書との

廿二日 雨
評定所豊後守出座

廿三日 雨

今度右馬頭殿婚姻^二付木曾路為見分被遣之
被時金二枚
被下服之二枚
御暇
小川新九郎
土井大炊頭
小出伊勢守
水野備後守
織田内記
前田左近
溝口土佐守
吉良若狹守
品川内膳正

欠

上州知行有之六分

此外百人御番頭諸役人御番之輩上州之知行人郡村^并山林川等繪圖注より山之名川之名東西南北之隣郷書付之相給之人又、御藏入有之村、其面々^江相談^シ繪圖候仕岡田豊前守妻木彦右衛門迄可相渡之若繪圖惡^キ所於有之、兩人好次第^二書直^シ可被渡候右、雅楽頭安藤對馬守上野一國之繪圖被^レ仰付右之繪圖^二村之間敷を注し此書立之内頭^二支配方より可被申届頭支配無之輩、所縁^二屬し其趣吏名之者誰^江申届旨可書之由右之趣被^レ仰出候

廿四日 晴
辰刻紅葉山^江御参詣^{御兵衛}
御刀
御香
本多土佐守
松平内記
御先立 雅楽頭
水戸紀伊兩相公尾羽林陪拜 方丈拜迎
豫參 雅楽頭 豊後守 大和守
御供 土屋但馬守 土并能登守 板倉筑後守 松平民部少輔
被下之^{時服式} 御暇
松平市大夫
村越長門守

廿六日 晴

御黒書院

出御
金馬代 參勤御礼
各銀馬代
金拾枚 四万八千石 家督之御礼
金貳枚 一万石
右御礼^二付同姓下野守出座御礼

銀馬代 二千石 分知之御礼
時服三 婚姻相濟御礼
同 四 津輕越中守

欠

欠

右組之内同心昨廿三日町廻りとして出行本西門跡前^二而

松平中務大輔從者酒井新右衛門 聊及口論同心式人深手負新右衛門則立退依之被懸御穿鑿手負之内式人御成敗其外同心式人追放四人御扶持被召上之
右近子
松平五郎八
但馬守弟
八木宮内
出羽守子
本多忠左衛門
勘三郎子
中山勘之丞
八大夫子
松平七十郎

右五人御赦免之上可被 召出旨
御中開頭兼右衛門子
大岡虎之助

右嶋御免
土岐山城守へ御預御免
真田右衛門家老
大熊鞞負

右御預御免右去 正月 台徳院様 御遠忌^二付増上寺
依懇謝 御赦免
去正月 台徳院様 御遠忌付^而自増上寺御勘氣之輩御赦免願達 高聞被 仰出也

欠一

右知行取替被下旨老中傳之

廿五日 晴

被下物 在所^二御暇如何
無之
初菱喰
進上之
阿部播磨守
松平龜千代

廿六日 晴

御黒書院

出御
金馬代 參勤御礼
各銀馬代
金拾枚 四万八千石 家督之御礼
金貳枚 一万石
右御礼^二付同姓下野守出座御礼

銀馬代 二千石 分知之御礼
時服三 婚姻相濟御礼
同 四 津輕越中守

欠

欠

右御礼^二付同姓下野守出座御礼

金一枚 御加増三千石 御加増之御礼 板倉筑後守

銀馬代 隱居之御礼 松平民部少輔

銀馬代 家督之御礼 森川下総守

金馬代 上方御暇 野々山丹後守

金五枚 時服三羽折 福嶋へ御暇 野々山肥前守

羽織 秋原十帖 參府 小濱孫三郎

遺物備前助真御刀 伊奈半左衛門

代金三十枚 遺物吉岡一文宇 野間三竹法眼

御刀代金八枚献上之 本多越中守

初菱喰 献上之 本多下野守

禁裏^江初菱喰御進獻宿次

廿七日 晴 新院御所

右御移徙^二付御使大澤右近大夫可被遣旨老中傳達之
在所之初鶴 一羽献上之 松平龜千代

廿八日 晴 式日之御禮如何

大刀目錄 先頃雜摩会科被遣御礼 (日記記に 訴訟相濟^二付御礼)

高天大藏卿を以進上之 一乘院御門跡^方

包袋十 飛鳥井大納言^方

保田宮内を以進上之兩使 御目見

鞠道之儀付^而冷泉為御朝臣申分雖有之依非據飛鳥井一家 可為進退旨被 仰出候御礼 奈良興福寺惣代

縁組被 仰付 花 藏 院 德 藏 院 五嶋民部 小笠原右近大夫娘 松平隱岐守 本多中務大輔娘 松平志摩守

松平駿河守娘

松平長門守

松平駿河守娘

戸田和泉守

姉小路娘

伊達市正

山澄将監

渡邊平左衛門

金田与惣右衛門

石谷五右衛門娘

服部備後守娘

大岡甚十郎

伊澤隼人正娘

内藤七之助

右可被 召出旨大久保甚兵衛

山名太郎左衛門

近藤造酒介

久世権十郎

長谷川貞右衛門

伏見権七郎

花房左兵衛

市橋三左衛門

安藤郷右衛門

本多半之介

宇都宮庄之助

宅間七十郎

小笠原三左衛門

間宮文五郎

天野五郎八

堀田平左衛門

三浦平十郎

野々山團右衛門

永井平八郎

飯高七左衛門

美濃部左兵衛

武藏内藏助

安藤五郎兵衛

加藤清兵衛

中山源右衛門

林又四郎

澁江松軒

久志本弥四郎

久志本半之丞

田澤道徹

廣井一務

萩原長十郎

鈴木宇右衛門

永井与五郎

織田伊左衛門

織田隼人

小栗虎之助

清水六之助

太田七郎右衛門

山本百助

三神権左衛門

山口孫三郎

曾我源三郎

伊賀守四男

甲府宰相殿格臣出雲守三男

右之面々嫡子次男可被 召出旨老中傳達之

禁裏初鶴御献進之

法皇御所本院御所初菱喰一羽 御献進右以繼飛脚

晦日 己未雨

右被為 召水口御番被 仰付之

伊丹大隅守 勝政

井上筑後守 政清代

新院御所 女院御所 以繼飛脚初菱喰被進之

西本願寺

如例年八朔之御祝儀として使僧を以献上之

廿九日 戊午雨

右招 殿中於深川綱吉卿 濱屋鋪被遣之旨老中傳達之

時服ニツ 被下之

飛鳥井大納言 高天大藏卿 使僧

安田宮内 使僧

酒井修理

右參勤御礼依所芳延引 付

時服四 金馬代 名代

星野宇右衛門

を以 献上之 錦嶋与一郎

右馬頭綱吉卿家臣

黒田信濃守

一乘院御門主

飛鳥井大納言

高天大藏卿

安田宮内

名代

星野宇右衛門

錦嶋与一郎

鍋嶋孫平太嫡子

鍋嶋与一郎

錦嶋与一郎

圖書題頭

勘右衛門三男

宇右衛門三男

久三郎二男

勘七郎三男

外記弟

傳左衛門惣領

傳右衛門惣領

平右衛門二男

大久保兵左衛門二男

伊織三男

安藝二男

權左衛門二男 雨奥

清兵衛二男

神尾勘兵衛二男

堀田平左衛門

八兵衛二男

三浦平十郎

瀨兵衛惣領

野々山團右衛門

弥右衛門二男

永井平八郎

七兵衛惣領

飯高七左衛門

一舉惣領

美濃部左兵衛

八郎右衛門惣領

武藏内藏助

御裏門御番頭四郎左衛門惣領

安藤五郎兵衛

市左衛門惣領

加藤清兵衛

六郎右衛門二男

中山源右衛門

弘文院二男

長治惣領

林又四郎

式部惣領

澁江松軒

式部二男

久志本半之丞

清雲孫

宗庵惣領

田澤道徹

三左衛門惣領

萩原長十郎

喜左衛門惣領

鈴木宇右衛門

彦兵衛惣領

永井与五郎

織田伊左衛門

瀨川兵門守組弥十郎惣領

柳營日記

寬文四^{甲辰}年

八月小

朔日 庚申雨

御黒書院

出御 御長持

御刀 松平因幡守

右 御對顔過^面

御白書院

出御

御三家方

右 御對顔畢^面

大廣間^江

出御諸御禮如禮 入御之後在國之面々在府所勞之輩以使者御太刀目錄献上老中出座奏者番請取納

本多吉左衛門

右向後御表々御礼可仕旨老中傳之

奥 御側衆へ縮二卷晒二疋^ツ被下二日三日同断被下

二日 辛酉微雨

欠

味岡傳兵衛

父傳右衛門煩^ニ付父之跡館林綱吉卿^江被為附右之傳兵衛

三日 壬戌晴

今日 御誕生日付御祝儀之餅酒等

殿中祇候之面々^江被下之

覺

一 絹紬之儀一端^ニ付大工之カネ^{ニテ}長三丈四尺幅一尺四寸たるへき事

一 布木綿之義一端^ニ付大工之カネ^{ニテ}長三丈四尺幅一尺三寸たるへき事

右之通此以前々被相定之處近年猥^ニ有之間向後書面之通寸尺々不足^ニ織出^ス輩於有之^者可為曲事旨来巳ノ年秋中々

改之不足之分見出し次第可取之候間諸国在々所々おゐて可存^者旨者也

寬文四年辰八月三日

大久保豊前守

内藤式部少輔

大森信濃守

本多土佐守

右去頃御加増拝領之所付 御書出頂戴之

四日 癸亥陰晴

評定所出座大和守

大御番頭大久保右京亮繼

右三百石之知行所之内式百石惡所^ニ付累年愁所^ニ付御切

米替被下旨老中傳達之

拾人扶持

拾二人扶持

右在江戸中被下之旨老中傳達之

鶴一羽

献上之

五日 甲子曇

右去頃被下領地五百石之所付

院住心院被為 召老中渡之

初鶴一羽以繼飛脚被遣之

六日 乙丑雨

御座之間

右登城 御目見

京都^江 上使御暇於 御座之間 御目見

銀百枚

繡珠式十卷

青磁御花入唐繪卷物 奥 仇英画

阿蘭陀花毛氈

銀百枚

右^者今度

新院御所當月廿一日御移徙^ニ付大澤右近大夫を以被進之

御暇 金五枚

時ふく式羽折

二丸 御成 御乗馬 奥

七日雨 無事

八日雨 無事

奥 禁中々御進打技大高御銚子披露

九日晴

御黒書院

出御

金馬代

各銀馬代

參勤之御礼

婦府之御礼

各箱着

時服四

時服三

時服二

時服一

被下物無之

御暇

婚相濟御礼

松平若狹守

土屋能登守

板倉隱岐守

内藤志摩守

内藤飛騨守

土井大炊頭

松平和泉守

安藤對馬守

松平備前守

織田豊前守

大澤右近大夫

松平若狹守

井伊兵部少輔

土井兵庫頭

岡部主税

阿部伊豫守

酒井日向守

三浦志摩守

朽木伊豫守

堀田備中守

松平若狹守

土屋能登守

板倉隱岐守

内藤志摩守

内藤飛騨守

土井大炊頭

松平和泉守

安藤對馬守

松平備前守

織田豊前守

植村土佐守

近藤織部

御勝手^ハ 出座

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

近藤織部

<

(金五折服三枚)

駿府御暇

板倉市正

荒川右近

銀二十枚

式百石

能勢三十郎

山吹之間

銀十枚

各銀馬代

堀 右京

興津久七

前田主水

川勝龜之助

小林太郎左衛門

向井主水

妻木作助

木村内藏助

能勢萬之助

内藤弥兵衛

小出孫十郎

九鬼權之助

堀田善兵衛

嶋 兵四郎

廣戸十兵衛

松田六之助

藤懸内匠

右山吹之間

並居一同御礼

和田新五兵衛

右召仕千種九郎兵衛

守辻番所

遣し於彼地成敗可仕之旨被

仰付番頭美濃守宅

御徒士目付小山太郎左衛門

可被 召出旨老中傳達之

御暇

御島見

都筑權兵衛

右奥州御馬買 可被遣旨

諏訪部文九郎

門奈助左衛門

右府中御馬買可被遣之旨被

仰付之

覺

今度關東中國廻被 仰付候旨往來不自由無之様

申付候耕作収納之時分 候間掃除等可為無用事

音物一切仕間敷事

國廻之面々泊々 春米大豆其所賣候様可申付事

附商賣物常々之通之直段 可申事

泊々之宿所作事等申付候義可為無用事

附茶屋新規作り申間敷事

御朱印之外人馬 御定之通駄賃錢取之人馬可仕之事

辰八月

泊々宿所湯殿雪隠など無之おゐて、輕く可申付桶手洗

鍋釜無之所 用意可申候以上

久保金左衛門病氣 付湯治御暇被下之

十日 雨 無事

右可被 召出旨被 仰出之

十一日 微雨

加藤權左衛門

小野傳三郎

加藤甚兵衛

加藤甚之助

糸原勘兵衛

末吉勘三郎

同 八郎右衛門

本院御所

右之通被 仰付之

時服ニツツ

被下之

御暇

十二日 陰晴

評定所美濃守出座

初鶴

右以繼飛脚被遣之

二丸 渡御 御馬被為召

十三日 晴

御刀 松平内記

箱肴

銀馬代

時服五

羽織

同 五

御勝手 出座

御加増之御礼

各金馬代

久野左門

瀧川三九郎

山田源右衛門

細井喜三郎

岡田内膳

倉橋三五郎

井上半十郎

稻富喜三郎

大御番入

右之通被 仰付之

時服ニツツ

被下之

御暇

十二日 陰晴

評定所美濃守出座

初鶴

右以繼飛脚被遣之

二丸 渡御 御馬被為召

十三日 晴

御刀 松平内記

箱肴

銀馬代

時服五

羽織

同 五

御勝手 出座

御加増之御礼

各金馬代

松平甲斐守

松平長門守

土岐山城守

松平駿河守

内藤式部少輔

大久保豊前守

大森信濃守

本多土佐守

大岡次郎兵衛

山名太郎右衛門

鍋嶋与市郎

孫平太子

織田伊左衛門

織田隼人

長谷川貞右衛門

市橋三左衛門

近藤半助

永井平八郎

傳右衛門二男
安藤郷右衛門
外記弟
花房左兵衛
近藤造酒之丞
山口孫三郎 某
曾我源三郎 助勝
右馬頭殿家老伊賀守四男

山吹之間十七人

一 御目見
瀨兵衛子
野々山團右衛門
大久保兵左衛門二男
宇津庄之助
平右衛門次男
本多半之助
安藝次男
小笠原三左衛門
次郎兵衛一男
大岡久三郎
納戸頭
雨宮文五郎 正秀
書院頭
久世權三郎 忠門
先手頭
勘七郎為和三男
伏見權七郎 為信
小十人頭
伊藤憲之三男
宅間七十郎 実良
小栗長右衛門 正直
西丸藏匠頭
權之助政廣子
清水六之助 政聲
四郎左衛門次男
安藤五郎兵衛
一字子
美濃部左兵衛
小普請奉行
八郎右衛門吉子(日記記江喜亮忠)
武藏内藏助
市左衛門子
加藤清兵衛
六郎右衛門二男
中山源右衛門

本院へ 初鶴 御進覽

十四日 癸酉 晴 無事

十五日 甲戌 雨

式日之御禮如例

一 東 權僧正之御礼
上州渡川
真光寺
一 卷 御宮御修復被 仰付候
修学院權僧正
一 本 領地御書出於因許
松平丹後守使者
多久長門
御目見 初御礼
新御番組頭 清兵衛子
新御番頭 天野五郎八
新香手頭 神尾勘兵衛二男
堀田平左衛門
御留守居番 八兵衛二男
三浦平十郎

欠一

清水御船手 佐次右衛門四男
細井教馬
飯高七左衛門
萩原長十郎
太田七郎右衛門
山本百助
三上權左衛門
御代官 助左衛門子
河合作兵衛
御臺所頭 喜左衛門子
鈴木宇右衛門
御馬方 弥次右衛門子
細谷十右衛門
弘文院次男
林 春常
春徳子
林 久助
長恰子
澁江松軒
式部子
久志本弥四郎
式部二男
久志本半之丞
清雲孫
田澤道徹
宗庵子
渡邊宗以

右 入御之節山吹之間並居一同二拜謁
南部廣福寺惣代

時服三ツ 御暇
花 嚴 院
徳 藏 院
新院御所
女院御所
初鶴
右以繼飛脚被遣之
十六日 乙亥 雨
御暇 時ふく四
松平丹後守使者
多久長門

十七日 丙子 雨

紅葉山 御名代 美濃守

來年四月

權現様五十年御忌二付 於 日光山 勅會之御法事御執行
惣奉行
酒井雅楽頭

右被 仰付旨於 御座之間 御直二被 仰出之
日光御目付代 佐々又兵衛

欠一

右被 仰付旨老中傳達
十八日 晴
小出修理亮娘
成瀬隼人正二

右縁邊被 仰付之

駿州久能山支配之儀新見市左衛門被 仰付之旨榊原越中
守被 召老中傳達之
御鷹師
新美市左衛門
被 召之駿州久能山御社領支配被 仰付只今迄取来ル御
切米御惣領兵九郎へ被下市左衛門へ新規二現米百石被下
之旨老中傳達之 但 市左衛門被下來候分地方式十五石
御切米百五十俵式人扶持也

右之趣榊原越中守へも傳之
八十庄左衛門
本多忠左衛門
中山勘之丞
松平七十郎

去頃御勘氣御赦免以後初而登 城
二丸 渡御
十九日 微雨
駿府御目付
松平甚三郎
右可被遣旨老中傳達之

廿日 寅刻地震申別又地震
東叡山御名代豊後守
日光御門主 雅楽頭 參上
來年四月於日光山 東照宮五十回御忌之御法事付而今日被
仰出之覚
一來年四月於日光山御法事三箇日御執行可被遊事
一万部御経十日二讀經相濟候様二可仕候事
一 梶井殿妙法院殿青蓮院殿竹内殿下向有之候様 可申達事
一 京都廻山門ノ僧六十五人罷ル様可申達事
一 京都ノ役人 乘人罷ル様可申達事
右之趣書付を以被 仰出之依之東叡山へ雅楽頭持參之

駿河大納言殿家来矢部八左衛門儀先年豆州大嶋へ流罪之處於彼嶋去十八日令病死之旨御代官伊奈兵藏注進之此者之儀不及檢使之旨也

廿一日 雨

御太刀足
時服四足

右參勤之御礼就病氣延引名代を以献上之

例 在所

右就病氣同氏大膳亮を招則老中傳之

一京都へ次飛脚是来年四月於日光山 東照宮御遠忌 勅

會御法事御執行被成度被 思召之旨傳奏衆迄奉書

廿二日 卯刻地震 折々雨

評定所大和守出座

箱肴

箱肴

時服三

銀馬代

去ル八朔御賀首尾能相濟候ニ付

右同断ニ付

右被差上右兩使 御目見終

御勝手

巡見被 仰付候面々御暇

金三枚ツツ

銀馬代

初御礼

丹波守二男
御小納戸 彦兵衛嫡子
三人御禮之字共 五郎兵衛嫡子

安部内膳
永井与五郎
曾根弥兵衛

各島目

百疋ツ

各銀馬代

各島目

百疋ツ

各銀馬代

各島目

百疋ツ

各銀馬代

島目百疋

鳥目百疋

廿三日 雨

西丸ニ御馬被為 召御番衆馬上覽

時服二ツ

時服式ツ

被下之

来月中公家衆参向ニ付

轉法輪石府

右府轉任御礼

大炊御門前右府

同断

勸修寺門跡

御代替ニ付参府

久我前内府

々 中将

廣幡三位中将

右、清花之列被 仰付且又官任之御礼

廿四日 雨

増上寺 御名代大和守

来年四月於 日光山御法事御修行雅楽頭令相談諸事御用可相勤旨

吉左衛門子

与右衛門子

左馬頭殿

甲府殿家来左兵衛子

伊左衛門子

三平子

宇右衛門子

四郎右衛門子

右馬頭殿

館林殿家来七内子

孫市子

七郎左衛門子

郷右衛門子

四郎左衛門子

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

渡辺弥太郎

揖斐彦右衛門

使者

天野三左衛門

小長谷治大夫

若林左兵衛

三宅又十郎

竹嶋三郎兵衛

使者

戸田喜六郎

前田八之助

山本七十郎

笠原又十郎

竹島三郎兵衛

海野縫殿右衛門

日下部喜兵衛

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

御馳走人

寺社奉行

井上河内守

加々爪甲斐守

岡田豊前守

御馳走人

越前之

永平寺後住

開宿

総寧寺光紹

右被 仰付依之生越之龍恒寺富田大中寺招 殿中傳達之

寺社奉行列座

廿五日 晴

欠

右婦參登 城

来月八日於日光山 正遷宮ニ付為 御名代吉良上野介被仰付之

廿六日 曇

御刀 神尾播磨守

金馬代

各銀馬代

各銀馬代

大坂御加番參

參勤之御礼

松平周防守

新庄隱岐守

西郷若狭守

本多山城守

松平外記

米津出羽守

各向組中

山吹之間

御前領地之御朱印頂戴之

並居一同 御目見於

水谷左京亮

本多吉右衛門

本多飛騨守、大坂加番、直ニ在所下向ニ付無御礼

来月 日光山御法事ニ付

弘文学院学士

飯高七兵衛

久保五兵衛

右、雅楽頭ニ指添可被遣之旨豊後守傳達之

弘文学院

同氏春信可被召連之旨傳之

京都次飛脚去廿一日 新院御所御移徒首尾克相濟之旨注進

廿七日 晴 無事

廿八日 晴

如例月諸大名出座 御目見

御刀 神尾播磨守

銀馬代

一東

一本

銀百枚

時服五

時服二

二卷

去頃領地之御書出頂戴_二付

を以 御礼則 御目見

箱香

金二枚

時服二

御白書院落縁_二而

二九 渡御

廿九日 晴

時服三

被下之

柳宮日記記

寛文四_{甲辰}年

九月大

朔日陰

式日之御礼如例

御菓子

被下之

二日 無事

三日 雨

日光山_{江来ル} 八日

正遷宮之為 御名代

右於 御座之間 御目見

御進献

御太刀 正則

御馬 栗毛

日門へ銀五百枚被遣之

銀五十枚

同三十枚

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

銀十枚_ツ

銀百九十枚

右正遷宮_二付被下之

覺

一 社家

一 一坊

一 楽人

一 承仕

一 内式人_ハ 御佛殿方

一 御供所坊主

一 内四人_ハ 御佛殿方

一 八乙女

一 宮仕

一 神人

一 鐘撞坊主

一 御神馬別當

一 御掃除頭

一 御下男

一 内五人_ハ 御佛殿方

一 辻番

右今度 正遷宮_二付鳥目式千貫文紙面之惣中へ被下之者也

覺

銀十枚

〃三枚

鳥目十貫文

右之通 正遷宮_二付被下之者也

四日 壬辰陰晴

日光 正遷宮_二付真劍_{正則} 一 振神馬_{栗毛} 一 疋御献進吉良

上野介持参

二 荷三種

白銀五百枚

白銀五十枚

白銀三十枚_ツ

白銀式拾枚_ツ

衆徒十九人

山口忠兵衛

御殿番四人

同心四十人

山口忠兵衛

御殿番四人

同心四十人

山口忠兵衛

御殿番四人

同心四十人

山口忠兵衛

御殿番四人

同心四十人

山口忠兵衛

御殿番四人

同心四十人

山口忠兵衛

御殿番四人

同心四十人

山口忠兵衛

御殿番四人

同心四十人

山口忠兵衛

御殿番四人

同心四十人

山口忠兵衛

御殿番四人

同心四十人

山口忠兵衛

御殿番四人

同心四十人

山口忠兵衛

御殿番四人

同心四十人

山口忠兵衛

御殿番四人

白銀十枚ツツ

白銀百
九拾枚
白銀十枚

鳥目十貫

白銀三枚ツツ
鳥目五拾貫

右者日光 正遷宮^三付^而被下之吉良上野介持參

同所同心^{四拾人}
右馬頭殿

右病後御登 城於 御座之間 御對願

一來^ル十七日 日光 御名代品川内膳正被 仰付之同所御祭

礼奉行酒井日向守被 仰付之

水餅一箱被遣之

右所勞^二付被遣之

式日 出座 豊後守

日門御登山^三付 上使品川内膳正被遣之

二丸 渡御 御馬被為召吳

五日癸巳 陰晴

重陽之吳服諸大名が献上之

奥女院より重陽御祝儀巻教被為進

六日甲午雨

御座之間

一本 御目見 京都が婦參

時服廿

時服六

時服六

羽折

正明坊
安養院
無量院
龍禪院
大日院
養心院
理性院

衆徒十九人
山口忠兵衛

役人等

御廟番四人

同所同心

右馬頭殿

同五ツ
御目見以後被下之
松平左近將監
丹羽式部少輔

金馬代 參勤之御礼
伊東主殿
尾張殿使者
内藤文左衛門

右去頃家司成瀬準人正縁邊被 仰付候御礼

箱肴 湯治が婦參 吉良若狭守

御勝手が 出座 松平丹後守

時服五 御暇 松平丹後守

意安京都婦 御目見 松平丹後守

新院御所御殿御作事手傳松平主殿頭被 仰付造畢付^而家

来拝領物昨日之所^二留有之

七日乙未雨 延明寺

右關宿総寧寺後住被 仰付之 仰付候松平主殿頭家来下

去^ル頃 新院御所御普請御手傳被 仰付候松平主殿頭家来下

町奉行費録

時服二十枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

時服二枚

十日戊戌陰晴
火之番組頭 御後日付
黒部市郎右衛門
關所奉行^江 佐久間次郎左衛門
岡本源兵衛
鶴飼十郎右衛門
奥方御廣敷添番^二 五嶋長左衛門

右者美濃守被傳之
御後頭安藤傳左衛門組之
組頭瀧又左衛門跡
今井八右衛門

右病病危急^二付醫師長以奉書を以被 仰付之
新御番組頭能勢市十郎組頭
南部山城守
小長谷猪兵衛

右所勞御役御免
日光が去八日 正遷宮首尾能相濟之旨注進有之御三家方
使者被差上之

十一日己亥微雨 酒井河内守

右御座之間^江 召出執前髪向後雅楽頭披露等之儀見習
且相應之御用等可承之旨被 仰出右之趣今日 殿中祇
候之面々 御執事演達 向後御奏者役可補助旨

來十八日右馬頭殿依婚禮室家へ被遣候品々

六尺屏風 四双

小屏風 二双

二枚屏風 一双

扶箱 梨子地 三荷

葛籠 同 式荷

衣桁 同 式

長持 十棹

駕籠 式挺

女中^江駕 拾五挺

惣 駕 三拾挺

右之通右馬頭殿上屋鋪迄被遣御細工頭兵部四郎兵衛持參

女院御所^江御使

銀五枚被下之 御暇

日野藤兵衛

一 女院より松茸二籠被為進
一 御臺様^一伽羅^二木被進

十二日 晴

式日 出座美濃守

本多下総守

右願之通隠居被 仰付高七万石息兵部少輔^江被下置旨下
総守招 殿中老中傳達

御座之間

日光^江掃參

吉良上野介

右登 城 御目見

十七日 御名代 日光山^江御暇

品川内膳正

御祭礼奉行

酒井日向守

右於 御座之間 御目見退座以後

御神前御太刀馬代黄金杓枚内膳正請取之日光御門主^江如
例御樽肴日向守請取之
齋林御内室今日御下向

十三日 辛丑晴

御座之間

京都^江掃參

大澤右近將監

御鷹之 鶴一羽

法皇御所

右以繼飛被遣之

火之番組頭

黒部市郎右衛門

右組中御引渡有之

鷹司殿姫君昨夕右馬頭殿屋敷^二御着

二九 渡御

家^ア大御^希 勘十郎子伏見主水初見

十四日 壬寅晴

御座之間

村越長門守

渡邊大隅守

右被 召出町中為轉變停止之義^并火之元等堅可申付之旨
御直^二被 仰出之

右京都^江近日為 上使可被遣之旨老中傳達之
横田甚右衛門 廣幡中納言忠幸

右參府^二付為 上使渡辺筑後守被遣之

西丸御門番松平若狭守本多下総守雖相勸下総守隠居被
仰付^二付為代松平周防守被 仰付旨

十五日 癸卯陰晴

御黒書院 おゐて

御家門方

御對顔相濟

御勝手^ハ

京都掃參

曾我伊賀守

御白書院

出御諸御礼如例

時服^三 銀馬代 箱者

御目見

一東 一卷

東卷

御勝手^ハ

銀馬代

御目見

御縁邊^二 短冊式枚

古筆見 了采

同 源左衛門

茶屋宗古

勸修寺門主

右參着^二付 上使雅樂頭被遣之大澤兵部大輔同道

來年西丸 御殿御修復御手傳

松平隠岐守

右被 仰付之旨人夫一万石^二付百人^二之積^二可相勸之旨老中^ハ
以奉書相達^ス 明春二月中當地參着候様可仕旨

右御手傳被 仰付之旨同名出羽守^江老中傳之
水野民部 吉良上野介

右 御座之間^江被為 召向後堂上方之御奏者可仕旨
御直^二被 仰付之

一蓮池馬場御乘馬

一酒井河内守元服之御礼

十六日 甲辰雨

御座之間

保科肥後守

松平式部大輔

右登 城 御目見

轉法輪右府

大炊御門右府

右參着^二付 上使大沢兵部大輔被遣之

久我内府

右參着^二付 上使畠山下総守被遣之

安藤九郎右衛門

右可被遣之旨土屋但馬守傳之

水戸宰相殿 光圀卿

右就所旁 上使松平式部大輔被遣之

十七日 乙巳雨

紅葉山 御參詣雨天^二付 御延引 御名代酒井雅樂頭

十八日 丙午雨

時服四 被下之

御暇

鳴津美作

織田豊前守

近藤織部

植村土佐守

今度駿府加番^二被遣候付御用之儀招 殿中老中傳達之
右馬頭殿御簾中去十二日御下着今日首尾克言相濟
○常憲院様御婚禮相濟候^二付箱肴献上 御使^希 林治大輔

十九日 晴

昨日右馬頭殿婚姻首尾好相濟^ニ付御一門方國持大名御譜代大名より使者差上^ル

時服式 御暇 八幡善法寺
被下之

日光^ハ次飛去十七日 御祭礼 御名代首尾克相濟候旨注進

廿日 晴

辰刻紅葉山^江 御參詣 御長袴

御刀 本多土佐守
御香 松平紀伊守

豫參 雅樂頭 豊後守 美濃守 大和守 御供 但馬守 能登守 筑後守

下總守也

御先立 雅樂頭

紀伊宰相 尾張中將 水少將陪拜

毘沙門堂拝迎

右即刻 還御

日光^ハ掃參

右於 御黒書院 御目見

品川内膳正 酒井日向守

廿一日 雨

巳下刻 御白書院

出御 御裝束 堂上方 御對顔
御太刀 本多土佐守 御刀 松平因幡守

右府轉任之御礼 轉法輪公富公

御蓋様へちりめん五巻 全 大炊御門経孝公

右両府 御對顔之節太刀目錄 御上檀^ニ披露吉良上野介

御右^江老^人着座

御蓋様へちりめん五巻 家領被遣御礼 久我前内府
御太刀目錄 廣通公

下檀^ニ置

御上段右之方着座

御蓋様へちりめん五巻 久我中将通名

右家領被遣候付御礼

御蓋様へちりめん五巻 久我中将通名

右同断

白輪子十巻 清花列且又官位座之御礼 廣幡中納言
金馬代 忠幸

御蓋様へ千疋糸十把

御薰物^三 父内府下向付初參勤之御礼久我中将

銀馬代 同 紗綾三巻 繼目之御礼 吉田侍從

同 紗綾三巻 御代替御礼 勸修寺門主

同 薫物 紗綾五巻 勸修寺院家 慈尊院權僧正

同 一本 伏見殿使者 小川隼人

御太刀 去頃作事料金 被遣候御礼 同所御向障子^ヲ明^ケ板縁^ニ而

同 轉法輪家來 入江和泉

同 大炊御門家來 橋本越後

同 勸修寺門主坊官 岡本内藏助

同 勸修寺門主坊官 山本外記

同 勸修寺門主坊官 豊岡久悦

同 勸修寺門主坊官 小幡大進

同 勸修寺門主坊官 山田大藏卿

同 勸修寺門主坊官 同 民部卿

右並居一同^ニ 御目見各扇子一箱^{ツツ} 献上之

堂上方御礼^ニ 付御譜代大名着大紋登^上 城 右馬頭殿

同 二荷三種^ニ 室 家^江

同 銀二百枚 桂昌院殿^江

同 銀二百枚 室賀下總守

同 銀二百枚 曾我伊賀守

同 銀二百枚 本庄宮内少輔

同 銀二百枚 大久保和泉守

同 銀二百枚 黒田信濃守

同 銀二百枚 秋浦大隅守

同 銀二百枚 大久保越中守^江

同 銀二百枚 奏者番五人

同 銀二百枚 奏者番五人

同 銀二百枚 奏者番五人

同 銀二百枚 奏者番五人

同 銀二百枚 奏者番五人

同 銀二百枚 奏者番五人

同 銀二百枚 奏者番五人

同 銀二百枚 奏者番五人

同 銀二百枚 奏者番五人

用人七人

前田孫一郎 白坂清左衛門 柘植平兵衛

戸田七内 植村五郎八 山本七郎左衛門

押田三左衛門 留守居三人^江

銀二十枚 留守居三人

原田孫兵衛 大田市兵衛 藤方勘右衛門

銀拾枚^{ツツ} 小姓拾九人

小姓十九人 小納戸十二人^江

酒井市大夫 西山十五郎 尾崎恒之丞

嶋田弥大夫 三宿勘兵衛 宮城大學

毛利七兵衛 前田新八郎 内藤助之進

柳原左大夫 平野左近 戸田五郎三郎

本多七郎兵衛 柘植五郎大夫 松平一十郎

神尾權之丞 原田友之助 山口源大夫

細井喜太郎 小納戸十式人

服部庄三郎 品川四郎右衛門 松平八郎左衛門

内藤久左衛門 坪井金右衛門 吉田小右衛門

河内半兵衛 酒依九兵衛 三嶋五左衛門

松波平八郎 浅羽市右衛門 高木五郎兵衛

銀時服等被下之 姫君御方女中 此方惣女中^江

銀二十枚^{ツツ} はな

銀十枚 かん

〃 式百枚 山崎

〃 二十枚 小少将

〃 二十枚 惣女中

〃 二十枚 京極内藏助

銀三十枚 式部卿

〃 十枚 むら井

〃 十枚 なかお

〃 十枚 なかお

〃 十枚 なかお

〃 十枚 なかお

〃 十枚 なかお

〃 十枚 なかお

御譜代大名

右其外伺公之面々一同^ニ御目見
御能初酒井河内守初^ニ相勤

三番叟 弥右衛門

白髭 金春 六右衛門 源右衛門 惣右衛門

經政 八之丞 萬作 兵三郎 三郎右衛門 八郎右衛門

千壽 十大夫 権七 源右衛門 彦右衛門

土蜘蛛 同人 六右衛門 源六 忠二郎 清五郎

祝言 大藏大夫 萬作 源六 又右衛門 源助 十兵衛 兵右衛門 兵三郎 太二郎

狂言

あそふ 弥右衛門

あくぼう 傳右衛門

ぶんさう 長大夫

御能三番過 御中入鳥目三百貫舞臺積之呉服猿樂頂戴之

酒井河内守渡之御能始終御規式如例

進敷薰物 勸修寺門主^ノ

是御能見物^ニ付^而也

久保平左衛門

渡邊筑後守

右大坂為御目付代近日可被遣之旨傳達之

廿六日 晴 無事

廿七日 雨

畠山民部

右願之通隱居被

仰付領地三百石嫡子次郎四郎^江被下之

石河土佐守

右願之通御役御免

御鷹之鶴

被遣之

左馬頭殿

右馬頭殿

右為御礼使者被差上御側衆謁退座

天樹院殿

高田殿

千代姫君

中丸殿^江

右從奥方被下之

廿八日 晴

今日堂上方御暇^ニ付諸大名出仕無之

御臺様^ノ小袖十 勸修寺門主^江

御臺様御使^{久良忠左衛門 跡同斷}

白銀廿枚 時服五 慈尊院權僧正

白銀十枚 時服三 從者四人^江

右上使雅樂頭被遣之吉良若狹守同道

轉法輪右丞相

白銀三百枚 綿式百把^ツ 大炊御門右丞相^江

御臺様^ノ小袖十^ツ 入江和泉守

白銀拾枚 時服二^ツ 橋本越後守^江

右上使大澤兵部大輔

久我内府^江

白銀二百枚 縮二百把 御臺様^ノ金式十枚卷物式十

右上使品川内膳正右之通被遣之

入江和泉守

銀十枚 橋本越後守

已后刻 御白書院 出御

御刀 松平因幡守

右今朝以 上使御暇被遣為御禮登 營 御對顔

白銀百枚 時服十 廣幡黃門

御臺様^ノ小袖五 久我中将

白銀五十枚 時服四^ツ 吉田侍從

右 御對顔御暇被下候以後於 御白書院拜領之老中列座

廣幡從者 三人

白銀十枚 時服式^ツ 於 柳之間被下之美濃守出座

伊勢 春木大夫 使者

時服式 同老 八幡 宝臺院 使僧

右御暇 付於檜之間被下之寺社奉行渡之

日光御門主^江

銀百枚 右當月為御祈禱料被遣之

廿九日 丁丑雨

御座之間

御目見 板倉内膳正

右大坂御用之儀御尋有之

御書院番組頭 加々爪十左衛門跡 稻葉主膳

右被 仰付之 卷物五 一箇二種 森 内記

右国許参着^ニ付使者 村上齋宮

を以 献上之 比丘尼御所 瑞 龍 寺

紗綾三卷 右繼目^ニ付 献上 御書院町野老岐守組与頭 加々爪十右衛門代 稻葉主膳

○ 御使番 林治太輔 結婚禮相濟白銀 五枚拝領

晦日 戊午雨

堂上方發足^ニ付御馳走人登 城老中謁

御役替被 仰付候輩 御腰物奉行頭 御書院番々出 高木五右衛門跡 新御番与頭 小長谷落兵衛跡 大御番々出 御金奉行 浅井治右衛門跡 京尼寺瑞龍寺使 上使森川下総守被遣之

天樹院殿大奥^江被為 入候 奥八大橋廿反帯おり五反被遣之 久松喜三郎 石谷兵四郎 三浦十右衛門 辻八郎右衛門 水戸光國卿

水戸殿

右御鷹之鶴被遣之為御礼少将殿登 城是^ハ水戸殿病氣^ニ付也